

品質向上

当社は、社会基盤を支える建設会社として、お客さまに信頼される品質を確保するとともに、環境負荷の低減に取り組んでいます。品質面では、ISO9001に基づく品質マネジメントシステムのもと、計画から施工、アフターケアまで一貫した管理を徹底しています。また、施工段階での品質リスクを洗い出し、早期に対策と今後の対応方針を明確化するとともに、「すべて

即時報告」の考え方に基づく迅速な初動対応と再発防止の徹底により、被害拡大の抑制と信頼回復に努めています。環境面では、重大な法令違反ゼロ、環境事故ゼロを目指し、施工時のCO₂排出量削減、省エネルギー機械や低炭素技術の活用、資源循環の推進を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



上席執行役員
品質・環境本部長

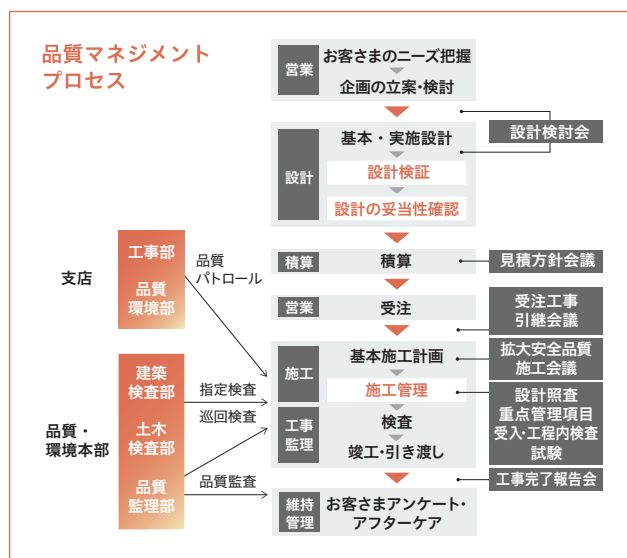
篠原 博

施工プロセスを遵守した品質管理の徹底

» 品質確保のための管理体制の強化

品質・環境本部内の建築検査部、土木検査部が独立した立場で検査を実施し、品質管理体制を担っています。重要工程での品質チェックを行うとともに、検査を通じて施工水準向上や工事成績評価点向上のための指導を実施しています。品質監理部による品質監査では作業所の品質管理プロセスを点検し、継続的な品質確保に努めています。

また、現場に密着した品質管理体制の強化を図るとともに、検査の第三者性と独立性をさらに高めるため、客観的な立場から品質チェックを実施し、全社的な品質水準の向上と均質化を推進しています。



» フロントローディングによる品質確認の徹底

2025年度は、工事着工前に、「拡大安全品質施工会議」を建築・土木60作業所で開催しました。本部管轄でより多くの関係者が参加する形式へと拡充し、図面内容のチェックや過去の品質事故事例を踏まえた対策を協議することで、品質リスクの早期発見と対応を強化しています。2025年度からは専門技術に特化した職員が参加してさらなる改善を図るなど、より効果的なフロントローディングになるように取り組んでいます。

» 真因分析と再発防止の組織風土を醸成

万が一、品質物損事故が発生した場合には即時に情報が報告され、全社で対応できる体制を整備しています。品質物損事故報告会では真因分析と再発防止策の検討を行い、各支店でも定期的に報告会を開催し情報共有を図っています。社内イントラネットには過去の事例をキーワード検索できるシステムを構築し、全社展開しています。あわせてこれらの事故事例を教育プログラムの教材として活用し、さまざまな教育機会を通じて同様の事故を二度と起こさない組織風土の醸成に努めています。

2026年度 品質向上に関する重点取り組み事項

- フロントローディングによる品質ミス・ロスの低減
- 業務フローに準拠した品質管理の徹底
- 即時報告と組織的連携による早期対応の徹底
- 技術者基盤の強化と品質改善活動の推進